

～高齢化社会に対応する新しい制度を新設～

損保業界初！「親族連絡先制度」を開始

MS&ADインシュアランス グループの三井住友海上火災保険株式会社（社長：柄澤 康喜）とあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（社長：鈴木 久仁）は、2016年1月から、高齢化社会に対応したサービス『親族連絡先制度』を開始します。

本制度は、ご契約者と連絡が取れないなどの緊急時に、あらかじめ登録いただいたご契約者の親族へ連絡し、保険契約に関する重要なお案内等を確実にお届けする、損保業界初のサービスです。少子高齢化社会の進展によって親族と離れて暮らす高齢者が年々増加し、「緊急時には親族に連絡して欲しい」というニーズが増加する中、こうした環境変化へ対応すべく“親と子をつなぐ懸け橋”として本制度を新設しました。

MS&ADインシュアランス グループは、今後も社会環境の変化を敏感に捉え、お客さまニーズに応える商品・サービスの開発に努めていきます。

1. 検討の背景

総人口に占める65歳以上の高齢者人口の割合は年々拡大しており、2035年には3人に1人が高齢者になると見込まれています。また、少子高齢化の進展に伴って一人暮らしの高齢者も増加の一途を辿っており、今後、高齢者のご契約者と連絡がつかないため保険契約の更新手続きができず、補償が途切れてしまうケースが発生することが懸念されます。

MS&ADインシュアランス グループは、これまでも少子高齢化に対応した火災保険やサービス等を提供してきましたが、少子高齢化が進展する社会環境を踏まえ、「高齢者に優しいグループ」として、ご契約者、親族の双方に安心を提供できる「親族連絡先制度」を新設しました。

2. 「親族連絡先制度」の概要

項目	説明
概要	ご契約者の親族1名（以下、連絡先親族）を、緊急時の連絡先として事前に登録いただく制度です。ご契約者の年齢は問わず高齢者以外のご契約者もご利用いただけます。また、保険期間の途中で、連絡先親族を新たに設定することも可能です。
目的	①ご契約者と連絡が取れないなどの緊急時に、三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保または代理店から連絡先親族の方に直接連絡し、満期案内等の保険契約に関する重要なお案内します。 ②ご契約者の契約内容に関する、連絡先親族の方からのお問い合わせにお答えすることができます（※）。
想定利用者	①高齢のご両親の万が一の際には自分がサポートしたい、保険に関することで両親と連絡が取れない場合は保険会社から直接連絡が欲しい、というお父さま ②自分自身に何かあった際の不安を解消するために、遠方に住む子どもや親族を緊急連絡先としたい、という高齢者の方
対象商品	自動車保険、火災保険などの個人向け商品 三井住友海上：GKクルマの保険、GKすまいの保険 あいおいニッセイ同和損保：タフ・クルマの保険、タフ・住まいの保険 など

※連絡先親族による保険契約のお手続きはできません。

3. 開始時期

2016年1月から本制度の運用を開始する予定です。